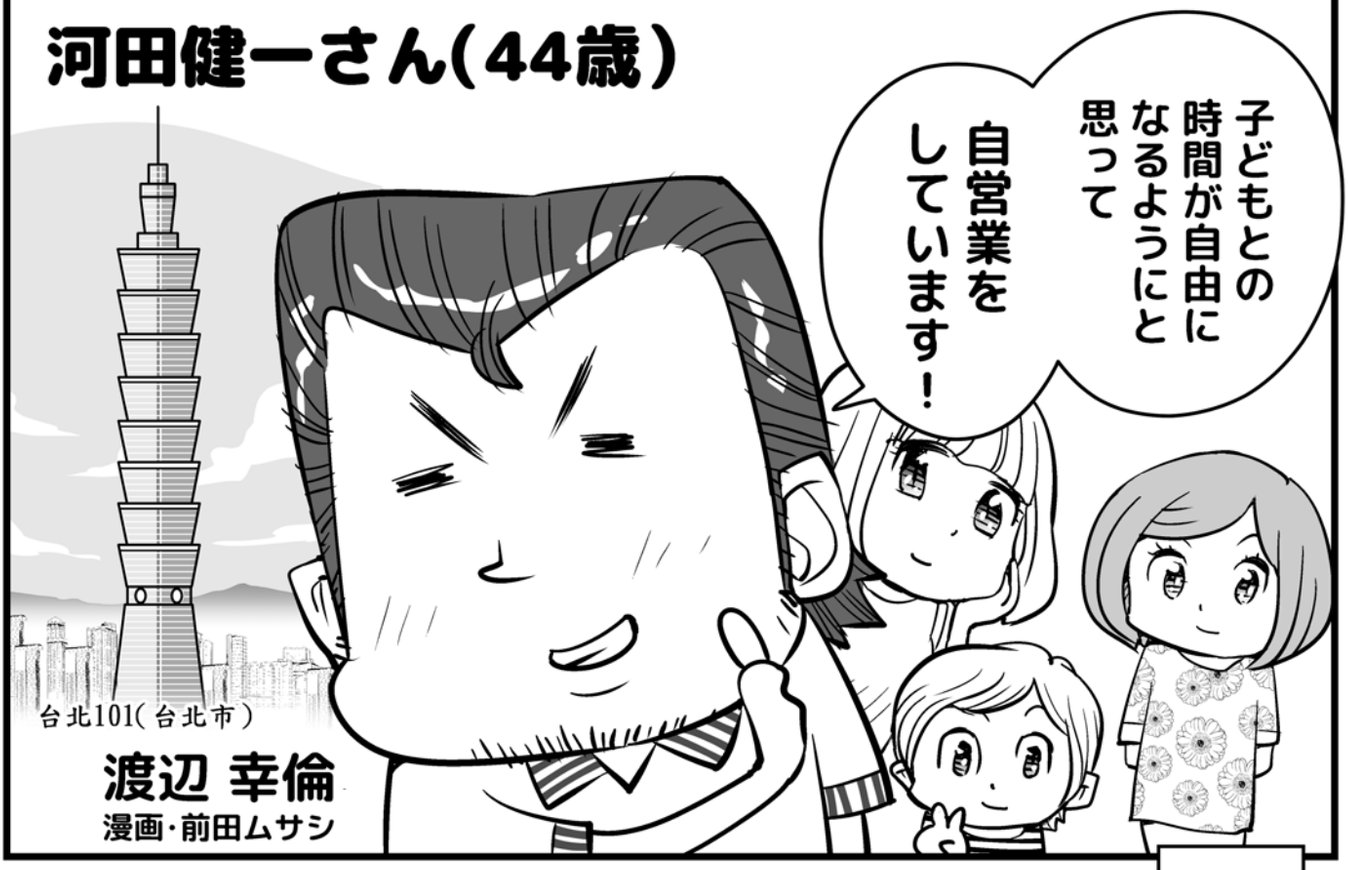
私のライフワークバランス

河田健一さん(44歳)



渡辺 幸倫
漫画・前田ムサシ

そこで出会った台湾の留学生が今の妻の珍妮(チェンニー)

台湾の人が英語名を使うなんて知りませんでした

あ！あなた同じ教室いたねー

私ジェニーです！

ジェニー？

中国と台湾って違うの？ タイとタイワンの違いは何？

当時は外国のことなど全く知識になく…

留学生たちの話はとても刺激的だったのです

大学を卒業後彼女は台湾へ戻り…

自分はとりあえず就職

ただ経営者になりたいという気持ちがあったので

就職してから2年ほどたったある日…

ニーハオ！ジェニー元気？

おー！ケンどーした？

俺やっぱ台湾に行くわ

おー！いいねー！

ということでさっそく翌日上司の元へ…

退職届

は!?

すぐに台湾に飛びました

ゴォォォォ

結婚もしてないし
ビザもないし
今考えるとアホかいなという感じですが

そんな自分でも就職させてくれる会社はないかと探したところ…
うちの会社来てみる？
ハイ！お願いします！

ある貿易会社に就職
そしてすぐに結婚しちゃいました！

台湾に来た頃は中国語は全く出来ませんでしたね
実は13年たった今もあんまりしゃべれません
コーヒー頼んだりぐらいはできるけど…

別に言葉を覚えに来たわけじゃないし…
経営者になるために台湾にやって来たので…
言葉を勉強するって気にはならなかったんですよね
現在は独立して自分で仕事をしています

義理の父は仕事の関係で少し日本語ができる

義理の母は日本語は全くダメ

祖父母は日本語がとても上手
特に結婚当初はおじいちゃん世代が絶対という感覚が残っており
日本語が使えてとても助かりました

台湾語（台湾閩南語）

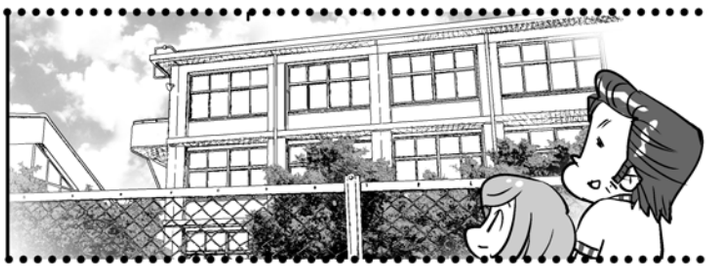
台湾語（および客家語、原住民語）は、それぞれの民族的なアイデンティティの継承のため、あるいは同じ民族語を話すグループの一員であることを明示できるツールという意味が付されていた。

そんなにネイティブな日本語じゃなくても…
話せて少し読み書きができるくらいは…

自分は言葉にはあまり力を入れてこなかったので大変だったけど
やっぱり子どもには言葉で苦労して欲しくないんですよね
子どもがやりたいと思ったときに対応できるようにはしておきたい

将来は日本の大学に進学するとか…
第二言語に日本語を入れておくとかもいいのかも…

この前の休みに日本の実家に帰った時に



近くの小学校に娘を3日ほど入れてもらいました
（以前から何度も交渉していたのですが、校長先生が変わったからか突然認められたのです）

台湾は良くも悪くもすごく個人主義
例えば運動会

集合も緩く自分の競技が終わればそれぞれ帰宅

妻の話によると昔は日本みたいだったのがここ20年くらいでかなり変わってきたらしい
勉強はよくするけど掃除の仕方も知らない雑巾の絞り方も知らない…

短くても日本の学校を体験させてあげられたのはすごくよかった

子どもの名前

子どもの名前には大きく分けて、①二つの姓名（全く別の日本語の姓名と中国語の姓名：栃木さんのケース）、②二つの姓（日本語の姓と中国語の姓）と一つの名（漢字が同一：吉沢さんのケース、さらに読みもほぼ同一という例も多かった）③日本名のみ（河田さんのケース）の3パターンがあった。

台湾の「イクメン」言説

台湾在住の父親たちにも、日本で話題になることが多い「イクメン」言説は共有されている。「自分たちの親世代とは異なり、子育てに積極的に参加することは重要な役割だ」と認識されていた。さらには「子育て自体が好きで、やりたいからやる」と語る父親もいた。